



報道関係の皆さま  
プレスリリース

2020年9月17日

チンクエチェント博物館

## 眠っていた古いイタリア車 FIAT 500 を電気自動車に蘇らせた『FIAT 500 ev』を販売開始。

9月17日(木)12:00より映像ローンチ スタート!  
販売拠点での車両展示も予定しています。

### 『FIAT 500 ev』デビュー

チンクエチェント博物館（愛知県名古屋市）は、チンクエチェント（イタリア語で500の意味）の愛称で親しまれるイタリアのFIAT 500を愛する私設の自動車博物館です。

中でも1957年～1975年に製造された古いFIAT 500（チンクエチェント・クラシケ）を所蔵・展示するとともに、保護・保存にも取り組んでいます。

当博物館では、チンクエチェント・クラシケを現代の暮らしの中で現役のクルマとして乗ってもらうことも保護・保存につながると考えています。そこで、眠っていた車両を救い出し、当博物館プロデュースのもと、提携するイタリアのカロッツェリアでレストア（修復）し、電気自動車（EV）として蘇らせました。

それが、『FIAT 500 ev』です。

内外装はオリジナルを活かしており、クラシケの趣も楽しめます。

※「クラシケ」とは、イタリア語で「クラシック」の意味です。

※チンクエチェント博物館では、現行販売のFIAT 500と区別する意味もあり、1957年～1975年に製造された古いFIAT 500をチンクエチェント・クラシケと表現しています。



今回の画像車両はプロトタイプです。実際の販売車両とは仕様の一部異なる場合があります。

### オートマチック限定免許でも運転OK

チンクエチェント・クラシケは50年以上経った、いわゆるクラシックカーです。

一般的にクラシックカーはマニュアル車のイメージがありますが、電気自動車にコンバートした『FIAT 500 ev』なら、オートマチック限定免許でも運転が可能。

初めてクラシックカーに乗る方でも扱いやすく、楽しめるクルマです。



## SDGsであり、輸入車・旧車の“新しい愉しさ”を提案するクルマ

古い車両を再生させ、より長く活用させていくことは、SDGs(持続可能な開発目標)につながると考えています。チンクエチェント・クラシケはイタリアでは文化遺産とまで称され、美しいボディはアートの領域でも高く評価されています。その美しいスタイリングと、EVを組み合わせた『FIAT 500 ev』は、「これまでの輸入車・旧車の概念にとらわれない“新しい愉しさ”」を提案できると考えています。

## チンクエチェント・クラシケについて

チンクエチェント博物館が愛するチンクエチェント・クラシケは、1957年～1975年にわたり累計367万台が製造・販売されたイタリアの大衆車。

空冷2気筒500ccのエンジンをリアに積んだ、丸みを帯びた可愛いボディも特徴です。

現在、愛好家は世界中に広がり、日本ではアニメ「ルパン三世」、映画「グラン・ブルー (Le Grand Bleu)」に登場したことでも知られています。

## 【特設サイトローンチ】

[www.museo500.com/fiat500ev](http://www.museo500.com/fiat500ev)

2020年9月17日(金)12:00に『FIAT 500 ev』の特設サイトを開設いたします。

特設サイトでは、『FIAT 500 ev』のブランドムービーをはじめ、モータージャーナリストの嶋田智之氏と、ラードライバーであり電気自動車の開発にも携わったキャリアを持つ眞貝知志氏による対談ムービーを公開。

さらに、嶋田氏とチンクエチェント・クラシケのオーナーが、『FIAT 500 ev』とクラシケを乗り比べた感想を語り合うムービーも公開します。

是非、一度ご覧ください。

また、画像は下記からダウンロードいただけます。

[www.museo500.com/fiat500ev/download](http://www.museo500.com/fiat500ev/download)

## 【『FIAT 500 ev』展示について】

『FIAT 500 ev』を実際にご覧いただけるよう、チンクエチェント博物館をはじめ、各地のチンクエチェント・クラシケ ディーラー(販売拠点)にて順次展示を行う予定です。

9月18日(金)～9月30日(水) **チンクエチェント博物館**(愛知県名古屋市瑞穂区高辻町14-1)

10月4日(日)～10月14日(水) **フィアット京都**(京都市左京区上高野諸木町47-1)

10月17日(土)～11月2日(水) **ガレーテ伊太利屋**(東京都江東区1-5-14)

\*本件につきまして、詳細・ご不明な点は下記までお問い合わせをお願いいたします。

### チンクエチェント博物館

担当：深津

TEL：052-871-6464 FAX：052-882-1105

携帯：090-7048-5358

e-mail：fkz@museo500.com

HP：www.museo500.com



## チンクエチェント博物館について

チンクエチェント博物館（愛知県名古屋市）は、チンクエチェント（イタリア語で500の意味）の愛称で親しまれるイタリアのFIAT 500を愛する私設の自動車博物館です。

中でも1957年～1975年に製造された古いFIAT 500（チンクエチェント・クラシケ）を所蔵・展示するとともに、保護・保存にも取り組んでいます。

当博物館ではチンクエチェント・クラシケを館内に所蔵・展示するだけでなく、現代の暮らしの中でより多くの人に乗ってもらうことも保護・保存につながると考え、車両の販売も行っています。

これは、眠っていた古い車両を救い出し、当博物館プロデュースのもと、提携するイタリアのカロツツェリアにてレストア（修復）し、蘇らせた車両です。

保護・保存活動として当博物館がプロデュースして販売する車両は、2020年9月にリリースした電気自動車『FIAT 500 ev』<sup>(※1)</sup>のほか、エンジン車両の『FIAT 500（チンクエチェント・クラシケ）』<sup>(※2)</sup>もあります。

なお、現行販売されているFIAT 500も、1957年～1975年に製造された古いFIAT 500同様、チンクエチェントの愛称で親しまれています。

(※1)(※2)は、当博物館の販売車両の名称です。

●「クラシケ」とは、イタリア語で「クラシック」の意味です。

●チンクエチェント博物館では、現行販売のFIAT 500と区別する意味もあり、1957年～1975年に製造された古いFIAT 500をチンクエチェント・クラシケと表現しています。

### 【概要】

チンクエチェント博物館は、2001年6月、愛知県知多半島にあるリゾート施設「チッタ・ナポリ」内にて開館。

現在は名古屋市瑞穂区に移転し、運営しています。

館内には貴重な最初期の車両から、アバルト仕様、アメリカ輸出仕様、ビーチ用の特注車両など、希少なチンクエチェント・クラシケを所蔵・展示しています。

### 【当博物館が愛するチンクエチェント・クラシケについて】

1957年～1975年に製造されたチンクエチェント・クラシケは、累計367万台が製造・販売されたイタリアの大衆車。空冷2気筒500ccのエンジンをリアに積んだ丸みを帯びた可愛いボディも特徴で、イタリアでは文化遺産とまで称されています。

アメリカの「ニューヨーク近代美術館（Museum of Modern Art of New York）」では、オリジナル状態の1968年式の車両が永久保存として展示されるなど、アートの世界でも高く評価されています。

現在、愛好家は世界中に広がり、日本ではアニメ「ルパン三世」、映画「グラン・ブルー（Le Grand Bleu）」に登場したことで知られています。

### 【チンクエチェント・クラシケの保護・保存活動について】

チンクエチェント・クラシケは最終モデルの製造からまもなく半世紀を迎えます。

現在はクラシケとしての意味合いが増し、大切に乗りながら楽しんでいる愛好家が増えている一方で、多くの車両は朽ちていくのを待つばかりという状況です。

当博物館ではこうした現実に関心をもち、「こうしたクルマをきちんとレストア（修復）して、心惹かれた人たちに実際に所有してもらい、日常の中で乗ってもらうことで保護・保存につなげていきたい」との思いから、動態保存を目指して車両の販売も行うことにしました。

2020年9月にリリースした電気自動車「FIAT 500 ev」も、この考えに基づくものです。

[www.museo500.com](http://www.museo500.com)

チンクエチェント博物館